

今市屋台紹介

相生町



種 別	囃子屋台 平屋鹿型全面彫刻（白木）
建造年代	江戸末期～明治初期（推定）
彫 刻 師	伝記：大出常吉・神山政五郎
彫刻の内容	鬼板、縣魚の松と鷹。 脇障子の鶏と菊。前柱の梅。 高欄下の波に千鳥。

仲町



種 別	囃子屋台 平屋鹿型全面彫刻花（白木）
建造年代	昭和 29 年（1954）
彫 刻 師	一
彫刻の内容	花飾り。 御大典奉祝を記念し建造。

大谷向町



種 別	囃子屋台 平屋・花
建造年代	大正時代
彫 刻 師	一
彫刻の内容	大正四年（1915）の天皇即位式典の慶事の折に屋台が建造されたと見られる。大谷向町の人々は、現在もさらなる祭りの華やかさを特徴とする屋台づくりをめざして活動をつづけている。

「ぶっつけ」とは？

2 台以上の屋台が道路上でぎりぎりまで近づいてむき合い、お囃子のリズムや響きで競演を行うことです。昔は行事軍配により、一方がリズムが狂った時点で勝敗を決めたそうですが、現在は勝敗はありません。

春日町 1 丁目



種 別	囃子屋台 / 平屋鹿型全面彫刻（白木） 彫刻取付金具
建造年代	安政 6 年（1859）
彫 刻 師	後藤音次郎
彫刻の内容	鬼板のぼたんに獅子。縣魚の鳳凰。 脇障子の孔雀。障子回りの菊。
そ の 他	市文化財指定「平成 5 年 10 月 1 日」

小倉町 3 丁目



種 別	白木彫刻 白木造屋台
建造年代	江戸末期
彫刻の内容	鬼板には孔雀と牡丹、縣魚には牡丹、そして内欄間には鳳凰の彫刻をあしらえ、鳥と草花のみで自然の雄大さを演出した飾りとなっております。彫刻の奥行き間、重厚さは今市を代表する屋台彫刻となっております。随所に隠し彫刻も織り交ぜた江戸の粋を感じさせる屋台です。

朝日町



種 別	囃子屋台・平屋建・花屋台
建造年代	昭和 3 年（1928）
彫刻の内容	花飾り、御大典奉祝を記念し建造（市内最大花屋台）。屋台の切り回しの時、梃子棒と馬台を使い、ろくろ台を入れ回転させる（人力）。朝日町のお囃子には新弥流江戸五段囃子です。お囃子の構成は太太鼓、締太鼓（下付、上付）、笛、鉦で成り立っています。比較的速いテンポで演奏するのが、特徴です。ぶっつけの時には、更に速いテンポでダイナミックになる演奏に注目！！

住吉町



種 別	囃子屋台 平屋鹿型全面彫刻（白木）
建造年代	江戸末期（推定）
彫 刻 師	石塚吉明
彫刻の内容	前柱のぶどうにりす。 鬼板、縣魚のぼたんに獅子。 高欄の巻龍。

春日町 2 丁目



種 別	囃子屋台 平屋鹿型全面彫刻（白木）
建造年代	江戸末期～明治初期（推定）
彫 刻 師	神山政五郎・大出常吉
彫刻の内容	鬼板、縣魚の龍。 前柱のぼたんに孔雀。 高欄下の波に獅子。

小倉町 1・2 丁目



種 別	囃子屋台 平屋鹿型全面彫刻（白木）
建造年代	江戸末期～明治初期（推定）
彫 刻 師	高田新吾郎・野村幸吉・等
彫刻の内容	鬼板、縣魚の龍。 前柱のぼたんに孔雀。 高欄下の波に獅子。

東町



種 別	囃子屋台 二階・花
建造年代	昭和 36 年（1961）
彫 刻 師	一
彫刻の内容	花飾り。 昭和 52 年下鉢石町から譲り受ける。